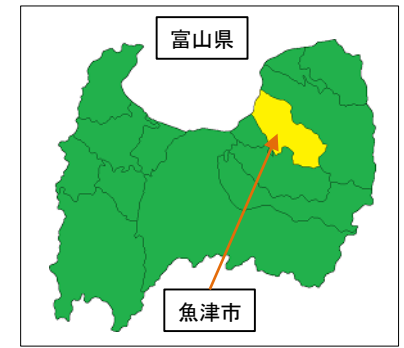


生物多様性の保全の取組と新たな担い手の確保・育成

うおづし つばの
(富山県魚津市 坪野集落協定)



- 集落で維持管理するため池は、希少植物や希少動物の生息地となっている。また、担い手が営農に専念できるよう、耐雪型金網柵の設置により労力の低減を図っている。

面積：30.2ha (田) 交付金額：547万円 (個人配分46%、共同取組活動54%)
協定参加者：農業者33人、自治会1 協定開始：平成12年度

地域の現状

- 当地区は、市街地から南南西約10kmに位置する標高300mの山間地の豪雪地帯。
- 地区内にある7つのため池は、魚津の水循環遺産「坪野地区のため池群」として認定。
- 農業者の高齢化・集落の過疎化やため池や水路の将来の補修・維持管理を見据え、集落営農の組織化や農業基盤整備を進めるため、平成12年度から本制度等を活用して農地の保全に取り組む。
- 獣害防止対策については、簡易電気柵を設置して対応してきたものの、近年はイノシシによる水稻被害が顕著。



【魚津の水循環】



【定期水路点検・江ざらい】

取組の概要

- 集落の農業者の多くが兼業農家で、近年では加速的に若い認定農業者へ農地を集積(H24:田1.6ha→H30:田9.1ha集積)。認定農業者の元に甥が新規就農し、将来の担い手として期待。
- 集落が堤体の草刈りや外来生物の駆除を行い、維持管理するため池は、富山県レッドデータブック登録の希少植物や希少動物の生息地となっており、生物多様性の保全に寄与。
- 獣害防止対策として、毎年の簡易電気柵の設置・撤去の労力低減のため、平成28年度から、県単事業により「融雪型侵入防止柵」の資材を購入し、本交付金の共同作業で設置を開始。(令和元年までに集落全周約5.5kmを設置予定)
- イネの生育が悪く、耕作放棄地になりそうなところは、景観作物として、そばを40a作付。



【ため池の保全】



【耐雪型侵入防止柵の設置】